

【育てたい力】 課題解決型学習において、最後まで課題を解決できる力。

	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	課題に迫る具体的な手立て	重視すべき単元名等
中学校	理科の見方・考え方をはたらかせ、 ・目的をもって実験する力 ・結果をまとめる力 ・妥当性を考えながら考察する力を身に付けさせる。	日常生活の事象から、定量的・定型的な実験双方について考えさせることで日常生活の事象についても理科的な視点をもたせる。	様々な課題に対してジグソー法などのグループ学習を行うことで様々な考え方に触れさせ、さらに発表させることで自らの考えをより深めさせる場面を用意する。	化学分野 化学変化と原子分子 物理分野 運動とエネルギー
小学校5・6年生	理科の見方・考え方をはたらかせ、 ・条件を整えて実験方法を考える力 ・複数の結果から結論を導き出す力を身に付けさせる。	・条件を整えるために必要な時間を確保する。 ・児童から出そうな意見を想定し実験ができるように準備しておく。 ・結果を整理する指導をする。 ・ほかの班の結果と見比べられる掲示や時間を作る。	・条件が整っているかグループで話し合う時間を設ける。 ・グループ間で条件が統一できているか見合う時間を設ける。 ・複数の結果から何が言えるのかを児童間で発表し合う。 ・複数の結果が一目で分かるようにしておく。	粒子・エネルギー分野 燃焼の仕組み（6） てこの規則性（6） 物の溶け方（5） 振り子の運動（5）
小学校3・4年生	理科の見方・考え方をはたらかせ、 ・いくつかの事柄を比べて問題を見付ける力 ・新しい問題に対して、習ったことや知っていることと関係付けて考えようとする力を身に付けさせる。	・興味関心や問題が見い出せるように事象提示を工夫する。 ・生活の中で起きているようなことを取り扱ったり、想起させたりするようにする。	・比べさせたい事象に目が行くような発問を準備しておく。 ・予想を立てて、実験を行い結果から考察するという流れを丁寧に、繰り返し指導していく。	粒子・エネルギー分野 空気と水の性質（4） 電流の働き（4） 物と重さ（3） 電気の通り道（3）
小学校1・2年生				